

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

2050年の将来像

既存の電気事業の枠を超えて事業を展開し、地球温暖化問題への対応及び地域の持続可能な発展とスマート社会の実現に貢献

経常利益
450億円以上自己資本比率
20%以上ROE
8%以上再エネ開発量
100万kW以上

② 中長期の経営戦略

1. 安定供給確保と収支改善

富山新港火力発電所LNG2号機建設、志賀原子力発電所2号機早期再稼働、送配電網次世代化に取り組む

3. 新事業領域の拡大

電力販売基盤を活かしたサービス提供、グループ一体の事業領域拡大、2023～2027年度で総額1,500億円程度の成長投資を実施

2. 地域と一体の脱炭素化

電源の脱炭素化、送配電網次世代化、お客さま・地域のゼロエミッション支援を推進

4. 災害対応力の強化

令和6年能登半島地震の経験を踏まえ、ハード・ソフト両面でのレジリエンス強化と被災地域復興への貢献

③ 対処すべき課題

① 安定供給と脱炭素の両立

- 再エネ開発量を2030年代早期に100万kW以上増加（2018年度対比）
- 2030年度発電電力量に占める非化石電源比率50%以上達成
- 火力電源の低炭素化推進

② 財務基盤の回復と強化

- 連結自己資本比率が20.5%まで回復、20%以上維持を目指す
- 2030年度のCO2排出量を50%以上削減（2013年度対比）
- ROE 8%以上達成

③ 地域課題への対応

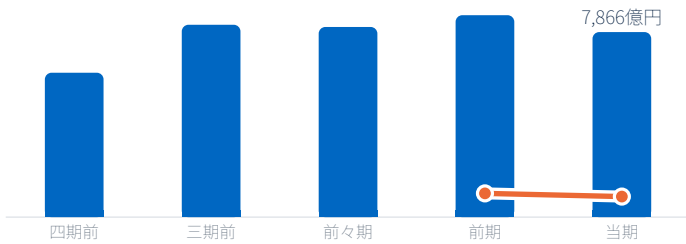
- 能登半島地震の知見を全国展開、災害対応力を継続強化
- 地域の持続可能な発展とスマート社会実現への貢献
- スマート社会実現への組織的な対応強化

面接で使えるポイント

- 2050年カーボンニュートラル挑戦に向け、2030年度の非化石電源比率50%以上目標を掲げている点に注目
- 令和6年能登半島地震での経験を踏まえ、災害対応力強化と地域復興貢献を重視する姿勢
- 2023～2027年度で1,500億円程度の成長投資により、既存事業の枠を超えた事業展開を目指す戦略

証券コード 9505

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
7,866億円営業利益率
11.1%財務健康度
43点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 58.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
826万円

電気・ガス業内 15位/28社

平均年齢
41.4歳

電気・ガス業内 21位/28社

平均勤続
20.1年

電気・ガス業内 6位/28社

女性管理職
2.8%

電気・ガス業内 19位/23社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

